

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立原小学校
(東畑中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+2.3	-5.4
令和5年度	+3.8	-2.0
令和4年度	+3.4	+2.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

● 全国平均 ■ 県平均 ✧ 本校 国語 話すこと・聞くこと 我が国の言語文化 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 本校 70.0% 全国 67.7% 県 69.0%	重点課題	◎◇文の中における主語と述語の関係や短文の表現技法を正しく捉えることに課題がある。(小：設問3一，中：設問4一)また，漢字が正しく書けていない。(小：設問2三ア，中：設問3三)(平均正答率 小 59.6%，中 58.3%)【言葉の特徴や使い方】
	改善の方策	◎◇主語と述語，修飾語の役割を指導し，文章中で正しく捉える練習を繰り返し行う。また，表現技法について指導し，文中での表現技法を見つけ，その効果を考えさせる。漢字は小テスト等を実施し反復学習をさせることで，定着を図る。
	検証	◎◇全国学力(設問3一)(小第5・6学年，2月)目標 90%→結果 77.7% 全国学力類似問題(設問3一，設問2三)(小第5・6学年，2月) 目標 80%→結果 80.5%
● 全国平均 ■ 県平均 ✧ 本校 算数 数と計算 図形 変化と関係 データの活用 本校 58.0% 全国 63.4% 県 64.0%	重点課題	◎◇除数が小数の場合において，除数と商の関係を正しく理解できていない。(小：設問2(2))また，連続する二つの偶数を文字を用いた式で表すことに課題がある。(中：設問1)(平均正答率 小 49.4%，中 25.0%)小【A数と計算】中【A数と式】
	改善の方策	◎◇反復学習により基礎的な四則計算力の定着を図る。また，式の意味を繰り返し指導し，数量の関係を文字を用いて式に表すことができるようにさせる。
	検証	◎◇全国学力(設問2(2))(第5・6学年，2月)目標 80%→結果 66.6% 全国学力類似問題(設問2(2))(第5・6学年，2月)目標 80%→結果 75%

【来年度に向けて】

基礎的基本的な知識・技能を身に付けさせるために，全学年で，授業や帯タイム，放課後等の時間に，計算や漢字のミニテスト，AIドリルを活用した反復練習を継続していく。また，国語科では，教材文の語句や漢字ドリルに出てくる熟語等の意味調べの予習を促し，語彙力を高めていく。算数科では，問題の意味を理解するために図等で表すことに取り組む。授業では，教師が十分な教材研究を行い，目標達成のための指導過程を工夫し，児童が練習問題に取り組む時間を確保する。また，評価問題や単元テストの誤答を分析し，定着率の低い問題を繰り返し解き直しさせることで学習内容の定着を図る。